

シリアの動きとトルコ【2013年10月11日】

1. 各国の動き概要

【シリア】

■10月4日、トルコ HalkTV は、アサド大統領に対するインタビューを放映。同大統領は、「トルコが支援してきたテロリストは近い将来トルコに対して衝撃を与えるだろう。トルコは大きな代償を払うことになる。テロリストを手持ち札としてポケットに入れておくことはできない。なぜなら彼らは持ち主を刺すことも辞さないサソリだからである。」と述べた。(5日付アルジャジーラ放送)

【国連】

■10月6日、OPCW（化学兵器禁止機関）は、シリア国内において、化学兵器の廃棄作業を開始。2014年中頃までにシリア国内に存在する全ての化学兵器を廃棄予定。(当地報道)

【米国】

■10月7日、APEC に出席したケリー国務長官は、シリアの化学兵器廃棄について、「シリア政権は、我々が思った以上に迅速な対応をしている。ロシア、シリアに感謝する。」と述べた。(10月8日付C紙17面)

■10月9日、報道官は、トルコ・エルドアン首相の「アサドはテロリスト」発言に関連し、「米国は、アサド大統領をテロリストとは言えない。」と述べた。(10月10日付C紙16面)

【英国】

■英国政府は、対シリア人道支援のため、8700万ポンドを WFP（国連世界食糧計画）に配分する旨発表。(10月3日付英国報道)

【中国】

■10月6日、中国外交部定例記者会見において、報道官は、「中国は、シリア化学兵器問題が前向きな進展を得たことに留意しており、歓迎する。現在、化学兵器禁止機関に対し、10名からなる専門家リストを提出しており、同10名は、要請に基づき、シリアの化学兵器の廃棄と検査の活動に参加する。」と述べた。

【トルコ】

■10月6日、エルドアン首相は、「アサド大統領は、テロリストである。11万人もの自国民を殺した人物はテロリストだ。シリアで行われていることは国家テロである。ケリー米国務長官はなぜ11万人を殺した男の態度に感謝を示せるのか。私はケリー長官がそのような発言をしたとは思わない。もし長官がそのような発言をしたのであれば、これまでの姿勢と矛盾する。」と述べた。

【参考】シリアからの避難民数（AFAD ウェブサイトから）

AFAD(首相府緊急災害事態対応庁)ウェブサイトから
シリアからの避難民数(9月26日版)

1. 全数

	人数
政府の避難施設居住者数	200,034
要加療者/同左看護者	462/195
トルコに入国したシリア人	381,274
トルコからシリアに帰国したシリア人	181,240

2. 県別避難者数

県	施設数		避難民数
	テント	プレハブ	
ハタイ県	1,380	1,165	15,789
ガーズィーアンテップ県	5,248	1,000	33,070
キリス県		5,645	30,780
シャンルウルファ県	9,817		67,133
カフラマンマラシュ県	2,737		14,986
オスマニエ県	2,012		8,518
アドゥヤマン県	2,292		9,998
アダナ県	2,142		10,189
マルディン県	1,300		2,366
マラティア県		2,083	6,551

2. トルコ国内報道（全国紙から抜粋）

●トルコ議会シリア攻撃延長申請を承認

トルコ議会は、10月4日で期限1年満了となるシリアへの攻撃承認について、野党 CHP（共和人民党）、クルド政党 BDP（平和と民主主義党）は反対したものの、与党 AKP（公正発展党）、MHP（民族主義者行動党）の賛成により可決された。(10月4日付C紙9面)

●シリア反体制派戦闘指揮官らが共同声明

10月3日、いくつかのシリア反体制派戦闘部隊指揮官（Ahrar al-Sham、Liwa al-Tawheed、Suqour al-Sham、イスラム旅団）が、共同でアル・カーイダ関連戦闘組織や他の反体制派組織に対して、戦闘の中止と48時間以内の撤退を呼びかける声明を発表した。同声明は、自由シリア軍「北の嵐」フェイスブックページにも掲載された。(10月4日付TZ紙17面)

在イスタンブール日本国総領事館

デア・シュピーゲル誌（ドイツ高級週刊誌）によると、アサド大統領は、「西側諸国はシリアを混乱させるためアル・カーイダと協力したが、ドイツは信頼できる国である」と述べた。（10月7日付C紙12面）

●レイハナル爆弾テロ事件

テキン CHP 副党首がレイハナル・テロ攻撃事件がアル・カーイダ系組織による犯行である旨発言したことに対し、チェリック AKP 副党首は、CHP はかかる発言により（同事件との関わりが憶測される）DHKP/C を清廉潔白であると示唆したが、アル・カーイダ等のテロ組織とレイハナル事件の関係はないと述べた。（10月4日付H紙26面）

●ドイツ・諜報機関の情報

独デア・シュピーゲル誌は、ドイツ諜報機関の情報として、イランはシリアに対し、シリア軍戦闘機がイラン領空を飛行する許可を与えていると報道。（10月4日付HT紙21面）

●自由シリア軍幹部発言

自由シリア軍幹部は、「自由シリア軍は、アサド大統領が政治の舞台から降り、市民を虐殺したことが法的に裁かれるまで、政権側と対話することはない。」と述べた。一方アサド大統領は、2014年の選挙に自身が立候補するかどうかについて明言を避けている。（10月4日付HT紙21面）

●ユニセフが学校設立予定

ユニセフは、キリス県において、シリア避難民子女のための学校設立を発表した。（10月4日付T紙4面）

●シリア国境付近、シリア戦闘機等接近

軍参謀本部の発表によると10月5日、以下4件のシリア戦闘機等国境接近事案が発生した。

- ①キリス県ウンジュプナル至近国境において、シリア軍 Su-24 戦闘機 1 機が国境 5.6 海里（約 10km）まで接近。
- ②ハタイ県ジルヴェギョズ至近国境において、シリア軍 Su-24 戦闘機 1 機が国境 8.6 海里（約 16km）まで接近。
- ③キリス県ウンジュプナル（①と同）至近国境において、再度シリア軍 Su-24 戦闘機 1 機が国境 10 海里（約 18km）まで接近、①～③については、ディヤルバクル空軍基地から緊急発進した F-16 戦闘機 2 機が警戒にあたった。
- ④ハタイ県カルベイアズ至近国境において、MI-17 ヘリコプター 1 機（9月16日トルコ軍から撃墜されたヘリと同型機）が国境 4 海里（約 7km）まで接近、アダナ県インジェリック空軍基地から緊急発進した F-16 戦闘機 2 機が警戒にあたった。（10月5日付HD紙3面）

●アサド大統領、独誌への発言

●シリア国境に壁を建設

マルディン県ヌサイビンのシリアトルコ国境では、侵入防止用ワイヤーが設置された高さ 2m の壁を建設中。また、ハタイ県ジルヴェギョズ国境検問所においても 2.5km に渡って防壁が建設される。（10月7日付HD紙3面）

●シリアからのアレヴィー派避難民

シリアからのアレヴィー派避難民がイスタンブールに移動する動きが見られる。南東部の避難所では、アレヴィー派がアル・ヌスラ戦線関係者等から差別されることが多く、女性が強姦されるという被害も発生している模様。アレヴィー派は、難を逃れるため、イスタンブールに移動し、公園等で生活している。アレヴィー派系協会会長は、アレヴィー派のための避難施設をトルコ政府に依頼しており、困窮した者同士を助け合わねばならないにもかかわらず、このような依頼をしなければならないのは非常に残念だと述べた。（10月8日付C紙6面）

●イラク刑務所から逃走のアル・カーイダ関係者、シリアへ

米 Foreign Policy 誌によると、イラクのエブ・グレイブ刑務所（過去米兵によるイラク人虐待が報道された刑務所）から脱獄したアルカーイダ関係者 500 名がトルコを経由してシリアに入った模様。同脱獄者の 1 名は、トルコ東部ガーズィアンテップにおいて同誌取材に対して、「友人 6 名が同様に脱獄してシリアに入った。自分は、シリアから GPS 付タブレット PC を購入するためにトルコに着た。シリアはイスラムの教えに則った国体として最も優れているので、そのためにシリアにおいて闘う。」と述べた。（10月8日付C紙17面）

●トルコにおけるシリア避難民数

10月8日、アタライ副首相は、「トルコにおけるシリア人避難民は、60万人にのぼる。内 20 万人は、21 カ所の避難民キャンプに滞在しており、同キャンプにおいては何らの問題もない。シリア国境に壁を作っているという話は偽りである。」と述べた。（10月9日T紙11面）

●外務省、BDP がシリアクルドと面談

8日、アンカラで、外務副大臣と BDP 代表団が、クルド人民評議会（KNC）の代表団と面談を実施。シリア反体制派グループへの加入を決めた KNC へのトルコによる支援、北イラクでのクルド人グループに対する支援等について話し合いが行われた。（10月9日HD紙4面）

●元 MIT 職員に禁固 20 年

元 MIT (国家諜報庁) 職員 オンデル S. 容疑者に対し、アダナ第 10 重罪裁判所は禁固 20 年を言い渡した。オンデル容疑者は 2011 年にシリアからトルコに亡命した FSA (自由シリア軍) 幹部 2 名を誘拐し、シリア側に報酬 10 万ドルと引き替えに引き渡した容疑で公判中であった。(10 月 10 日付 C 紙 14 面)

3. 地方報道 (南東部地方通信社インターネット版から抜粋)



※主にシリアと国境を接する上図赤線で囲った県における地方報道から抜粋。
■シャンルウルファ県ジェイランプナル近傍国境検問所は、完全に閉鎖され、セメントの防壁が設置された。(10 月 9 日 shanliurfa.com)



■ハタイ県レイハナルにおいて、軍警察 (ジャンダルマ) により最近 2 週間で密輸品として押収されたガソリン及び軽油の量は、54 トンにのぼる。治安当局は、シリアからトルコへの密輸を監視するため、警備を厳重にしている。(10 月 9 日付 hataygundem.com)



■キリス県ウンジュプナル国境検問所、ハタイ県レイハナル・ジルヴェギョズ国境検問所では、9 時から 17 時 30 分が通行できる時間帯となっており、検査も厳重なため、検問所前は仕事及び人道支援物資運送トラックの大渋滞となっている。(10 月 9 日付 hataygundem.com)



■シャンルウルファ県に滞在するシリア避難民は約 30 万人。アサド大統領は、トルコに避難した公務員たちに対し、シリアへの帰国を促している。公務員約 200 名がアレppoやダマスカスにおいて、以前よりも高額な給与で勤務している模様。(10 月 10 日 shanliurfa.com)